

2017年(平成29年)11月13日

関係者様

和歌山市立河西中学校

PTA会長 大谷 敬治
人権同和部長 後原 知津
学校長 東方 美喜夫

人権教育講演会のご案内

深秋の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、PTA活動並びに学校教育の推進に格別のご理解を賜り、暑く御礼申し上げます。

さて、PTA人権同和部主催では、NPO法人Peer心理教育サポートネットワーク理事長の小山秀之さんを講師に迎え、下記のとおり講演会を開催いたします。

ふるって、ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

記



1. 日時 12月9日(土)午後7時から(午後8時30分終了予定)
2. 会場 河西コミュニティセンター(多目的ホール(大))
3. 内容 演題 『思春期の子どもの特性と関わり方について』

ー不安や怒りの感情の理解とストレス予防ー』

講師 こやまひでゆき 小山秀之さん

(NPO法人Peer心理教育サポートネットワーク理事 和歌山県臨床心理士会理事)

講師先生からのメッセージ

思春期から青年期にかけては、身体の成長とともに人格が形成されていく時期と言われています。また、多感で非行や不登校などの問題へと発展しやすい時期でもあります。さらに近年では、発達障がいや生活習慣、ネット/ゲーム依存の問題なども注目されてきています。保護者にとっては、「褒める」べきか「叱る」べきか、または「見守る」べきか難しい選択をいつも迫られているかと思います。しかし、残念ながら、現在までの研究では育児に関して正解はありません。1人1人の子どもの状態に応じて関わるしかないのです。ただし、子どもの問題予防のためにしてはいけない関わり方についてはある程度明らかになってきています。本講演では演者の経験や最新の研究知見も交え、できる限り簡単にお話しします。「ホンマでっか!」と思いながら、気軽にお聞きください。